



令和4年6月16日  
北九州市環境局環境国際戦略課

## 環境省公募事業に3件採択、ゼロカーボンシティのアジア展開を加速！ (令和4年度脱炭素社会実現のための都市間連携事業委託業務 採択)

本市は、環境省「令和4年度脱炭素社会実現のための都市間連携事業委託業務」を活用し、アジア及び大洋州の3ヶ国の都市・地域において、脱炭素に関連する環境ビジネス案件の支援を行います。本事業では、現地の再生可能エネルギーの導入促進や、省エネルギー、リサイクルの推進及び温室効果ガス（GHG）排出削減に貢献するとともに、二国間クレジット制度（JCM）の活用による日本のGHG排出削減目標達成に貢献することを目指します。各都市・地域で、複数の環境ビジネス案件創出を目指し、市内企業の海外ビジネス展開を加速させながら、本市と各都市・地域の更なる連携強化を図ることで、アジアでの脱炭素社会実現につなげていきます。

記

### 令和4年度脱炭素社会実現のための都市間連携事業委託業務 採択案件一覧表

国・都市、地域／事業名	実施主体	事業内容
【ベトナム社会主義共和国・ハイフォン市】 ベトナム・ハイフォン市の脱炭素化に向けたエコ工業団地推進事業	北九州市 (公財)地球環境戦略研究機関 ハイフォン市外務局 <b>株ダイセキ</b> <b>株ドーワテクノス</b>	ハイフォン市と連携し、北九州市が有する再生可能エネルギー推進やエコタウンのノウハウの移転、優れた低炭素技術の導入を進めることで、GHG 排出削減及び環境への負荷を抑制し資源循環を促進する「エコ工業団地」を推進し、ゼロエミッション型工業団地の実装を目指す。
【パラオ共和国・コロール州】 パラオ共和国コロール州の脱炭素とコ・ベネフィットの促進を図る技術導入および施策の構築支援業務	北九州市 <b>株EVモーターズ・ジャパン</b> <b>アマタ株</b> <b>株クアンド</b> <b>株ATGREEN</b>	再生可能エネルギーの利用を促進するパラオ共和国・コロール州と連携し、PV を活用した EV 車両を導入させることで化石燃料使用量を抑制した輸送モデルの事業実現可能性調査・検討とともに、JCM 設備補助事業に繋がるニーズのフォローを行う。また、コロール州の官公庁舎における GHG 排出量調査を実施し、脱炭素化へ向けた施策の検討・支援を行う。
【マレーシア・イスカンダル開発地域】 イスカンダル地域における脱炭素モデルエリア構築事業(フェーズ1)	北九州市 <b>日鉄エンジニアリング株</b> 株NTT データ経営研究所 イスカンダル地域開発庁	北九州市と IRDA (Iskandar Regional Development Authority イスカンダル地域開発庁) の連携の下で、産業部門の脱炭素化に向けた産業間連携プロジェクト創出検討及び民生部門の脱炭素化に向けた再生可能エネルギー導入検討を行う。

※太字下線は北九州市内企業

#### 【添付資料】

- ・採択事業概要 別紙1～3のとおり
- ・参考資料① 採択事業一覧
- ・参考資料② 二国間クレジット制度（JCM）について

【問合せ先】北九州市環境局環境国際戦略課  
(アジア低炭素化センター)

ベトナム、パラオ：武藤（課長）、永原（係長）  
マレーシア：磯部（課長）、尾林（係長）  
電話：093-662-4020

## ベトナム・ハイフォン市の脱炭素化に向けたエコ工業団地推進事業（概要）

1 実施者：北九州市環境局、(公財)地球環境戦略研究機関、(株)ダイセキ、(株)ドーワテクノス、ハイフォン市外務局

### 2 事業概要

姉妹都市の関係にあるハイフォン市と北九州市の都市間連携を通して、GHG 排出及び環境への負荷を抑制し資源循環を促進したエコ工業団地を推進することにより、ゼロエミッション型工業団地の実装を目指す。具体的には、北九州市が有している再エネ推進やエコタウンのノウハウを移転するとともに、省エネ、再エネ、廃エネ回収、スマートエネルギー等について優れた低炭素技術の導入を進める。



2022年度	対象
<b>1. 太陽光発電導入調査</b> 1-1. 日系入居企業と連携した太陽光発電設備導入 1-2. 最終処分場の大規模太陽光発電事業（DPPAの検討）	工業団地
<b>2. 廃液・固形廃棄物エネルギー利用調査</b> 2-1. 廃液エネルギー利用 2-2. 固形廃棄物エネルギー利用	
<b>3. 省エネ・高効率設備導入調査</b> 3-1. 大型送風機＋インバーター 3-2. エネルギー消費大企業を対象とした省エネ設備導入	
<b>4. ハイフォン市の脱炭素化に向けたノウハウ共有、調査</b> 4-1. ハイフォン市グリーン成長行動計画策定支援 4-2. カットバ島における太陽光発電＋再生蓄電池 4-3. DXの課題・ニーズ調査及びノウハウ共有 4-4. AIMシナリオ分析・JPRSIと連携した具体案件発掘	市域全体

### 3 ベトナム・ハイフォン市について



#### 【ハイフォン市】

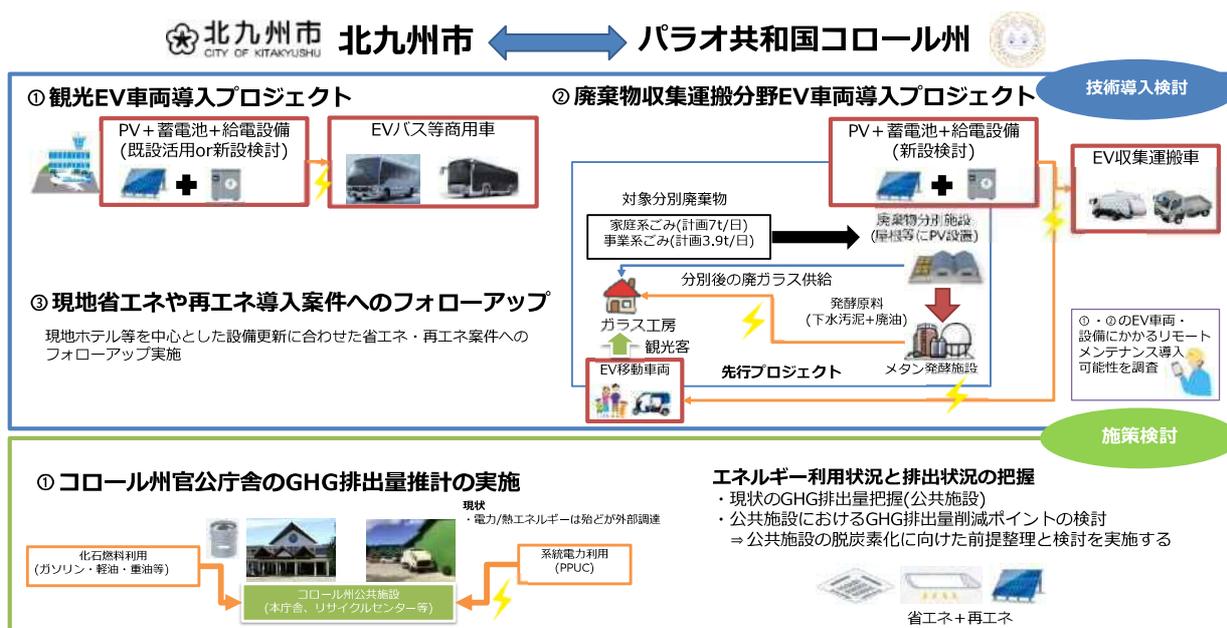
- ・人口：約205万人（2020年、ベトナム統計総局調べ）
- ・面積：約1523km<sup>2</sup>
- ・ハノイ市やホーチミン市と並ぶ中央直轄市の一つで、ベトナム北部最大の港湾都市。

## パラオ共和国コロール州の脱炭素とコ・ベネフィットの促進を図る技術導入 および施策の構築支援業務

- 1 実施者 : 北九州市  
 (株)EV モーターズ・ジャパン  
 アミタ(株)  
 (株)クアンド  
 (株)ATGREEN

### 2 事業概要

パラオ共和国コロール州との都市間連携事業のもと、再エネ導入を促進する方策として、太陽光発電を活用した EV 車両を導入させることで化石燃料使用量を抑制した輸送モデルの事業実現可能調査・検討と併せて、過去調査にて確認された JCM 設備補助事業に繋がる省エネ・再エネ設備導入ニーズのフォローアップを行う。また、コロール州の官公庁舎における温室効果ガス排出量調査を実施し、脱炭素化へ向けた施策の検討・支援を行う。



### 3 パラオ共和国コロール州について



#### 【パラオ共和国】

- ・首都：マルキョク（2006年コロールから遷都）
- ・人口：18,092人（2020年、世界銀行調べ）
- ・面積：488km<sup>2</sup>
- ・観光立国であり、2015年には観光客総数が161,931人に達した。（内、日本人観光客数は31,016人。）

#### 【コロール州】

- ・総人口の7割が居住する経済、文化の中心

## イスカンダル地域における脱炭素モデルエリア構築事業(フェーズ1) (北九州市ーイスカンダル地域開発庁連携事業)

1 実施者 : 北九州市、日鉄エンジニアリング(株)  
(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所、イスカンダル地域開発庁

### 2 事業概要

北九州市と IRDA (Iskandar Regional Development Authority イスカンダル地域開発庁) の連携の下で、2022 年度の活動として以下の活動を実施する。

- (1) 産業部門の脱炭素化に向けた産業間連携プロジェクト創出検討
- (2) 民生部門の脱炭素化に向けた再生可能エネルギー導入検討
  - ア 再エネ 100%北九州モデルによる太陽光発電設備導入
  - イ ベースロード電源としての廃棄物発電設備導入

### 北九州市ーイスカンダル地域 都市間連携事業調査事業概要



#### 都市間連携に基づく、ゼロカーボン先行エリア創出事業

- イスカンダル・マレーシアはジョホール南部に位置し、面積2217km<sup>2</sup>、人口約2.23百万人のマレーシア第二の経済都市である。
- 2019年度～2021年度まで、北九州市の経験とノウハウを生かして産業共生・エコタウン・廃棄物発電の事業化を検討。3か年の活動成果をCDP (Comprehensive Development Plan) IIIに反映させる計画。
- 2022年度からは、イスカンダル地域においてゼロカーボン先行エリアを生み出すべく、北九州の有するゼロカーボンシティ実現のための計画策定ノウハウ等を活用し、産業部門・民生部門において、わが国の先端的な技術を用いた先行プロジェクトを創出、脱炭素モデルエリアの構築を目指す。



令和4年度 脱炭素社会実現のための都市間連携事業委託業務

#### 活動1

##### 産業部門の脱炭素化に向けた産業間連携プロジェクト創出検討

各企業の廃熱・排水の処理状況を踏まえ、業種・企業の壁を超えた工業団地全体のエネルギーマネジメント、用排水の一括供給・一括処理を目指した検討を行う。  
具体的には、各企業の排熱発生状況をリアルタイムで把握し、ヒートポンプ、デマンドレスポンス等による企業間連携での最適利用、及び排水一括処理での希釈化、高度処理の導入等で高濃度有機排水を処理可能とすることによる焼却エネルギー削減などに関するパイロットプロジェクトを創出する。

#### 活動2

##### 民生部門の脱炭素化に向けた再生可能エネルギー導入検討

イスカンダル地域で再エネ導入が進んでいないことを踏まえ、以下2つの方向性に基づいて検討を行う。

- ①再エネ100%北九州モデルによる太陽光発電設備導入 (TPO(株)、エヌ・ティ・ティ・データ(株))
- ②ベースロード電源としての廃棄物発電設備導入

先行プロジェクトの創出 + イスカンダル地域内外に横展開可能なモデルエリア構築

### 3 イスカンダル地域について



#### 【イスカンダル地域】

- ・概要：ジョホール州最南部、シンガポール対岸のジョホールバル市を中心としたエリアがイスカンダル地域に指定されており、マレーシア第二の経済都市圏
- ・人口：約 223 万人 (2019 年、国連アジア太平洋経済社会委員会調べ)
- ・面積：2,217km<sup>2</sup>